

令和元年度 第2回須坂市健康づくり推進協議会 会議録（要旨）

1 開催日時

令和2年1月27日（月） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時05分

2 会議の場所

第3委員会室（市役所東庁舎2階）

3 出席した者

鶴田 崇 委員 若林幸夫 委員 浅沼登夫 委員 山下徹也 委員 宮川治枝 委員
原 信行 委員 神林清治 委員 永田繁江 委員 川上勝男 委員 寺田 克 委員
佐藤和子 委員

4 欠席した者

下鳥正博 委員 田崎恒基 委員 太田哲郎 委員 小松 仁 委員

5 事務局出席職員

小林健康福祉部長 浅野健康づくり課長 高橋高齢者福祉課地域包括支援センター所長
健康づくり課）荻原 健康支援係長 永井 保健予防係長 津山 母子支援係長
赤沼 母子支援係保健師

6 傍聴者 0名

7 配布資料

- （1） 第2期須坂市母子保健計画（案）
- （2） スムージードレッシングチラシ

8 部長あいさつ

9 鶴田会長あいさつ

10 協議事項

- （1） 第2期須坂市母子保健計画について
資料に基づき事務局から説明を行った。
これに対し、委員から次のような意見・質問が出された。（別紙議事録参照）
※事業計画（案）について了承、意見を反映し成分化することとする。

- （2） その他
スムージードレッシングについて、説明
これに対し、委員から次のような意見・質問が出された。（別紙議事録参照）

11 御礼（部長あいさつ）

12 閉会

議事録（質疑）

○協議事項（１）第２期母子保健計画（案）について

（津山母子保健係長）資料中の主なものについて説明

（鶴田会長）P28 父親の喫煙率が高い。予防接種に関連して、10 月から不活化ワクチンと他のワクチンとの接種間隔制限がなくなる。親御さんにとっても、医療機関にとってもこの間隔制限が迷惑な話だった。周知をお願いします。

高山の妊婦は歯周病の検診をやっているようで、また、小児の虐待も歯科治療でわかるようだが。

（浅沼委員）須坂ではないが、口腔内を診れば、虐待が分かることもある。長野市では虐待が疑われる例があるらしいというのは聞いている。関係機関に相談することはある。

（浅野課長）学童の方で、歯については行っている。妊婦の歯周病については、浅沼歯科医師会長とどのようにしていけばいいのか、相談しているところで、検討していきたい。

（原 委員）数字で、P21 表 6 の推移だが、喫煙率だとか、実人数は何に対してというか、ベースが出てこない。総人数があって利用が何人とか、どう見て評価していくのか、わかりやすいものにしたい方がいい。何か工夫を。

（寺田委員）P8(6)ひとり世帯が増えているが、年齢構成わかりますか。

（浅野課長）国政調査のデータであり、65 歳以上はわかるが、子育て世帯の分析は出ていない。

（永田委員）たばこの喫煙率、母子父子家庭世帯の数字が気になる。どんな年齢なのか。年齢配分はわからないのか。

（津山係長）喫煙率は、検診時の問診票からのもので、父母の年齢はわからない。

（永田委員）子育てに影響あるかと。

（浅野課長）喫煙の関係は、比較データが P9 にあり、④の指標で 36.5%、国は 38%、全体としても多い。国は 30%に減らそうとしている。須坂市も平均。

（永田委員）家族の影響がある。

（鶴田会長）妊娠・出産に満足している割合が高くなっているのは、須坂モデルの影響か。

（浅野課長）これだけでということはどうかと思うが、妊娠期から安心して産める環境があることはひとつの理由になればいい。病院の体制も変わり、満足度が高いのだと思う。

（寺田委員）平成 29 年以降、スタッフも揃い、市と連携も取らせていただきながらの事業、とにかく相談出来るところがあるというのは、安心感につながる。電話の相談もあるし、相談は増えている。

（浅沼委員）プライバシーの関連で、載せられないかもしれないが、妊娠中に胎児の疾患を検査される方はいらっしゃるのか。いるとすれば何%か、検査を受けて中絶などあるのでしょうか。

（浅野課長）行政では聞いていない。

（寺田委員）直接はない。

（浅野課長）遺伝、染色体の検査も行政ではわからない。

（寺田委員）相談はあるが、受ける方は少ない。

（鶴田会長）P38 3 歳児検診の視機能検査は平成 28 年から。

（津山係長）28 年度から実施しています。

（鶴田会長）長野市ではやっていないようで、どの程度効果があるのか。

(津山係長) これまでドットカードだけだったが、機械を使って検査するので、治療につながりやすくなる。

(原 委員) 再検査を受けていない人の指導はどのようにしているのか。

(津山係長) 検診の精密検査、未受診の人もいるが、電話や訪問で勧めている。なかなか結び付かない。

(原 委員) 難しいところですね。

(浅野課長) 親御さんの考えもあり、そうは言っても心配ないとか、言われる方がいて、数回に渡って確認するが、受診にいたらない。

(原 委員) 原因があるから再検査になるのであって、病気だったら進行してしまうので、怖いですね。

(鶴田会長) 窓口負担 500 円になって以降も経済的な理由ではなく、ほかの理由ということですか。

(津山係長) 父母の勤めや、子どもさんが保育園に入られているなど、時間が取れないといった理由

(浅野課長) 未受診ゼロに近づくよう受診勧奨をやっていく。

(鶴田会長) 食物アレルギーの関係で、年齢と共に改善されてくるものもあるが、親にアレルギーがあると言われれば、食べられるようになっていたとしても食べれないようだが、どうしているか。

(津山係長) P36 の表 6 年齢が高くなるにつれて症状はなくなる。子ども課にも栄養士がいて保育園でもアレルギーの対応しており、医療機関の先生とも連携している。

(浅野課長) 新しい給食センターでは、アレルギー食も対応していくところです。

○協議事項(2) その他について

(浅野課長) スムージードレッシングについて説明

(原 委員) 1 本 600 円ということか。

(浅野課長) スーパー等の物に比べると高いが、リンゴベースの塩分ゼロという点が売りで、お土産等で使用していただければ。3 本セットでも 1 本でも。

(浅野課長) 母子の計画については、いただいた意見を参考に見直し、改めて決定していきたい。

(鶴田会長) 今回の計画案は了承ということでお願いします。

(小林部長) 本日のいただいた意見をもとに、成文化して参ります。

(鶴田会長) それではこれで協議事項を終了します。

以上